

信州の環境にやさしい農産物認証 栽培事例(ブルーベリー)

認証取得者氏名	松川村ブルーベリー研究会	認証番号	50-00428	地域名	北安曇
地域(標高)	600m				
土壌(土性)					

項目	生産計画の内容	補足メモ
1 栽培 状況	(1) 品目	ブルーベリー (品種: ブルーレイ他)
	(2) 作型名	露地
	(3) 面積	124 a
	(4) 栽培戸数又は労働力	8戸
	(5) 栽培期間	平成27年4月 ~ 平成28年3月
	(6) 収穫期間	平成27年6月20日頃 ~ 平成27年8月10日頃
	(7) 収穫量	H26実績 1,000 kg (うち出荷量: 600 kg) H27計画 1,540 kg (うち出荷量: 900 kg)

3 栽培 方法	(1) 土づくり	木質チップ20t(2年に1回)、もみ殻100kg/10a																												
	(2) 施肥	<p>化学肥料を50%以上削減するために導入している具体的な技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土壌診断の結果に基づき、適した養分割合の肥料を用いることで化学肥料の低減を図っている。 <p>肥料の施用状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">肥料の種類</th> <th rowspan="3">施用量 (kg/10a)</th> <th colspan="3">成分量(kg)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">窒素</th> <th rowspan="2">リン酸</th> </tr> <tr> <th colspan="2">うち化学由来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>丸桑粒状固形 特3号</td> <td>29</td> <td>3.48</td> <td>3.48</td> <td>1.45</td> <td>1.45</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>29</td> <td>3.48</td> <td>3.48</td> <td>1.45</td> <td>1.45</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>地区慣行施肥量(kg/10a)</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>低減率(%)</td> <td>50.3</td> </tr> </table>				肥料の種類	施用量 (kg/10a)	成分量(kg)			窒素		リン酸	うち化学由来		丸桑粒状固形 特3号	29	3.48	3.48	1.45	1.45	合計	29	3.48	3.48	1.45	1.45	地区慣行施肥量(kg/10a)	7	低減率(%)
肥料の種類	施用量 (kg/10a)	成分量(kg)																												
		窒素		リン酸																										
		うち化学由来																												
丸桑粒状固形 特3号	29	3.48	3.48	1.45	1.45																									
合計	29	3.48	3.48	1.45	1.45																									
地区慣行施肥量(kg/10a)	7																													
低減率(%)	50.3																													

(6)病害虫防除	<p>化学合成農薬を50%以上削減するために導入している具体的な技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木質チップマルチ、もみ殻の利用 ・防鳥ネットの設置 ・定期的な剪定 ・毛虫の捕殺防除 <p>技術を導入する際の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木質チップ、もみ殻によって雑草の発生を抑えるとともに土壌の乾燥を防止する。 ・剪定で越冬害虫を除去する。 ・防鳥ネットの設置により鳥害による傷害果を防ぎ、ショウジョウバエの発生を抑える。 ・農薬による毛虫の防除は行わず、毛虫は自らの手で防除する。 <p>病害虫防除の内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>使用農薬名</th> <th>倍率・使用量</th> <th>有効成分数</th> <th>散布回数</th> <th>成分カウント</th> <th>除外カウント</th> <th>慣行回数への付加カウント</th> <th>慣行回数</th> <th>対象病害虫</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>殺虫殺菌剤</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>殺菌剤</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>殺虫剤</td> <td>① 石灰硫黄合剤</td> <td>7倍</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>カイガラムシ</td> </tr> <tr> <td>除草剤</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>植調剤</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: right;">合計</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>10</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td>農薬の使用回数</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>地区慣行農薬使用回数</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> <tr> <td>削減率(%)</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> </tr> </table>		使用農薬名	倍率・使用量	有効成分数	散布回数	成分カウント	除外カウント	慣行回数への付加カウント	慣行回数	対象病害虫	殺虫殺菌剤										殺菌剤								3		殺虫剤	① 石灰硫黄合剤	7倍	1	1	1	1	0	5	カイガラムシ	除草剤								2		植調剤										合計					1	1	0	10		農薬の使用回数	0	地区慣行農薬使用回数	10	削減率(%)	100.0%
		使用農薬名	倍率・使用量	有効成分数	散布回数	成分カウント	除外カウント	慣行回数への付加カウント	慣行回数	対象病害虫																																																																			
殺虫殺菌剤																																																																													
殺菌剤								3																																																																					
殺虫剤	① 石灰硫黄合剤	7倍	1	1	1	1	0	5	カイガラムシ																																																																				
除草剤								2																																																																					
植調剤																																																																													
合計					1	1	0	10																																																																					
農薬の使用回数	0																																																																												
地区慣行農薬使用回数	10																																																																												
削減率(%)	100.0%																																																																												
(4)その他特記事項																																																																													

3 販売状況	(1)主な販売地域	松川村、全国
	(2)販売方法	つみとり、直売所、通信販売、JAへの出荷
	(3)県認証の活用方法	包装へ認証シールを貼って販売している。
	(4)実需者や消費者の反応、メリット	平成27年産からの取組であり、販売数が増えているという実感はないが、環境にやさしい農業を行うことが大切であると考えている。

始めた動機	以前から環境にやさしい安全・安心な栽培の重要性を感じ、水稻で低農薬・低化学肥料の栽培を行っていた。新しい品目に取り組みもうと考えていた時、普及センターからの技術のアドバイスもあり、ブルーベリーでも取り組みうと決めた。
農家のコメント	農薬、化学肥料の使用を低減させた栽培を続けてきており、松川村ではこの方法で栽培する農家が増え、それぞれ安全・安心な果実をつくろうと取り組んでいる。 平成27年産からブルーベリー研究会(8名)として認証を取得した。今後も会員を増やして取組みを上げたい。販売面においても効果が感じられるようPRしていきたい。

